

新たなステージで革新と挑戦を

代表取締役会長 光川 幹夫氏



アートグループ

鯖江市上河端町6-1-33

持ち株会社アートホールディングスを中心に、システムソリューションや電子デバイスなどの事業を展開する。昨年7月期の決算は売上高、営業利益とも過去最高を更新したが、「IT業界は大きな変化を迎えている。困難に立ち向かい、DX、AI等のICT時代で大きな可能性に挑戦していく」と目を輝かせる。

さらに「システムを効率的に開発する『ニアシヨア事業』の成功に続く、次の事業を模索しなければならぬ」と革新イノベーションの重要性を強調する。

その革新に向け、事業推進体制は大きく若返りした。昨年7月にアートテクノロジの役員構成を刷新し、4代から5代前半までの役員3名が経営の中心に。「新しい考え方を持って創造的なイノベーションを生み出せる組織に生まれ変わった時が、新しいステージだと力を込める。

DX初期モデルの確立やAI技術活用による画像解析分野の開拓など、進化するテクノロジにベンダーとしていち早く対応するとともに「グループ全体には、豊富な業務経験とソフトウェア、ハードウェアそれぞれの技術基盤がある。それらをコーディネートし、より付加価値と生産性の高い事業、製品を生み出していく」と見通す。また、「異質な文化を取り入れたい」と、M&Aでクレジットカード事業などを手がける東京のシステム会社を買収。業績は順調に上がり、営業面でのシナジー効果も出ている。

さらなる飛躍へ、次期からの中期計画でグループ社員550人、売り上げ115億円を目標に「新しい企業体として第一歩が踏み出せる年になりたい」と意気込む。